

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
1	おだなか じゅんいち 小田中 準一	1	すごもりの かぞくをいやす きんぎよかな
			巣ごもりの 家族を癒す 金魚かな
		2	きんぎよまう れいわにさちの おおかれと
			金魚舞ふ 令和に幸の 多かれと
2	おぎき はるみ 尾崎 春美	3	まごのとと きんぎよはふちを まわりけり
			孫の手と 金魚は縁を まわりけり
		4	でめきんの おをひるがえし あめあがる
			出目金の 尾をひるがえし 雨あがる
3	たのうえ ちかし 田上 智佳士	5	すあかのわ いさかいたびに まごこのわ
			素赤の和 諍い度に 孫子の和
		—	—
4	ふくだ きみあき 福田 公明	6	はくたいに きんぎよむれまう ながすちょう
			百代に 金魚群れ舞う 長洲町
		7	ひらひらと はごろもりゆうきん まうながす
			ひらひらと 羽衣琉金 舞う長洲
5	そえだ まみ 添田 麻美	8	しろとくろ まとうはごろも てんによのよう
			白と黒 纏う羽衣 天女のよう
		9	ぷりぷりと すがたもおよぎも おうのかんろく
			ぷりぷりと 姿も泳ぎも 王の貫禄
6	ほり たく 堀 卓	10	でめきんと かいわのはずむ じしゆくちゆう
			出目金と 会話の弾む 自肅中
		11	ながすには せかいにほこる きんぎよあり
			長洲には 世界に誇る 金魚あり
7	てらづ ごうすけ 寺津 豪佐	12	ひるまえに みなとられてた くらでめきん
			昼前に みな取られてた 黒出目金
		13	すえっこの そうぞくしたる きんぎよかな
			末っ子の 相続したる 金魚かな
8	いわなか みきお 岩中 幹夫	14	ざいたくに ひとりじゃないと きんぎよばち
			在宅に ひとりじゃないと 金魚鉢
		15	げんかんに しあわせまねく きんぎよかな
			玄関に しあわせ招く 金魚かな

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
9	やなぎや ますひろ 柳谷 益弘	16	でめきんも めをおおいたる ういるすか
			出目金も 目を覆いたる ウイルス禍
		17	なつさかん ながすのきんぎょ きりょうよし
			夏盛ん ながすの金魚 器量よし
10	ちだ こうじ 千田 康治	18	ころなかに さんみつでまつ きんぎょたち
			コロナ禍に 三密で待つ 金魚たち
		19	ふわふわで いいときんぎょの しんかろん
			ふわふわで いいと金魚の 進化論
11	たけうち てるみ 竹内 照美	20	でばんまつ よみせのきんぎょ つかれぎみ
			出番待つ 夜店の金魚 疲れ気味
		21	みつをさけ いっぴきだけの きんぎょばち
			密を避け 一匹だけの 金魚鉢
12	はば しげる 幅 茂	22	ごせんぞの かおにもどっているきんぎょ
			御先祖の 顔に戻っている金魚
		23	きんぎょすくい こらもぎょうしゃも じしゅくちゅう
			金魚掬い 子らも業者も 自粛中
13	たぶき そうたろう 田吹 宗太郎	24	かなしみや わらいもしているきんぎょ
			悲しみや 笑いも知っている金魚
		25	きんぎょすくい むちゅうなつまを そっととり
			金魚すくい 夢中な妻を そっと撮り
14	いちば さとえ 市場 さと枝	26	はこつりの ひとにうもれて あこのてを
			箱釣の 人にうもれて 吾子の手を
		27	またにげた でめをねらった かれがいる
			又、逃げた 出目をねらった 彼がいる
15	なかの ひろき 中野 弘樹	28	ういずころな きんぎょにもらう ながすりよく
			ウイズコロナ 金魚にもらう 長洲力
		29	いえごもり すくったきんぎょに すくわれる
			家ごもり スクった金魚に 救われる
16	かも わたる 加茂 亘	30	きんぎょかう いけをゆめみる まいほ一む
			金魚飼う 池を夢見る マイホーム
		31	ひのあたる にわにきんぎょが のびのびと
			陽のあたる 庭に金魚が のびのびと

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
17	おかさき あさこ 岡崎 亜佐子	32	くずきりに すけたきんぎよが さらのそこ
			くず切りに 透けた金魚が 皿の底
		33	わすれられ もみじかざして まふきんぎよ
			忘れられ 紅葉翳して 舞ふ金魚
18	つぼた たもつ 坪田 保	34	きんぎよえー すずしうりごえ なつかしき
			金魚えー 涼し売り声 懐かしき
		35	すいすいと きんぎよはうまく ながすよう
			スイスイと 金魚は上手く ながすよう
19	へんみ おさみ 逸見 修	36	きんぎよとの きすはいつでも がらすごし
			金魚との キスはいつでも ガラス越し
		37	むかしつま いまはきんぎよに いやされる
			昔 妻 今は金魚に 癒される
20	にしむら よしひろ 西村 嘉浩	38	もういちど こえがききたい きんぎょうり
			もう一度 声が聞きたい 金魚売り
		39	ようそうも わそうもおよぐ きんぎよばち
			洋装も 和装も泳ぐ 金魚鉢
21	さいとう ひろみ 斉藤 浩美	40	うえからすくい かえばよこから みるきんぎよ
			上から掬い 飼えば横から 見て金魚
		41	おをよじり きんぎよたくみに ぼいかわす
			尾をよじり 金魚巧みに ポイ躲す
22	よしだ さをり 吉田 さをり	42	ながすでは ゆかたのきんぎよが かけまわる
			長洲では 浴衣の金魚が 駆け回る
		—	—
			—
23	つのもり れいこ 角森 玲子	43	でめきんが かえったまごの おきみやげ
			出目金が 帰った孫の 置き土産
		44	ますくして えさやりします ねんのため
			マスクして 餌やりします 念のため
24	つのもり みゆき 角森 みゆき	45	でめきんが ぼいのあなから のぞいてる
			出目金が ポイの穴から 覗いてる
		46	いえにいる ははにきんぎよが よくなつく
			家にいる 母に金魚が よく懐く

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
25	つのもり たくや 角森 多久哉	47	ひゃくてんの てすとさいしよに みるきんぎよ 百点の テスト最初に 見る金魚
		48	あかなくても きんがもらえる きんぎよたち 赤くても 金がもらえる 金魚たち
26	すずき みつしげ 鈴木 満滋	49	つまといく よみちをてらす きんぎよかな 妻と行く 夜道を照らす 金魚かな
		50	びょうしつの きんぎよばちには いろがある 病室の 金魚鉢には 色がある
27	むらかみ ひろゆき 村上 裕幸	51	この水に 金魚の絵を 描いてみる
		52	浦川を ながす金魚 子供たち
28	くろとび よしたけ 黒飛 義竹	53	まごかえり きんぎよゆらゆら おおあくび 孫帰り 金魚ゆらゆら 大あくび
		54	だいえつと きんぎよのつまが ふなになる ダイエット 金魚の妻が 鮎になる
29	あかまつ ききょう 赤松 桔梗	55	ころなかや きんぎよもでばん とめらるる コロナ禍や 金魚も出番 止めらるる
		56	らんちゅうも でめきんもみな でばんなし らんちゅうも 出目金も皆 出番なし
30	すずき りょうじ 鈴木 良二	57	せいかくのよいきんぎよなら もとむべし 性格のよい金魚なら 求むべし
		58	とうきょうの きんぎよそーしゃるでいすたんす 東京の 金魚ソーシャルディスタンス
31	ふくい ひろあき 福井 洋明	59	きんぎよより にあうまっかな ちゃんちゃんこ 金魚より 似合う真っ赤な ちゃんちゃんこ
		60	かんれきに きんぎよになった おじいちゃん 還暦に 金魚になった おじいちゃん
32	まつもと ひろみ 松本 ひろみ	61	盆踊り 負けぬ優雅な 泳ぎ見せ
		62	肩寄せて 金魚すくい の 数競い

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
33	たがわ たかこ 田川 尚子	63	へんしんだ すくったきんぎょ ぼによだった!!
			変身だ すくった金魚 ポニョだった!!
		64	わらってる なつのひざしに あかいぼによ
			笑ってる 夏の日ざしに 赤いポニョ
34	やまの だいすけ 山野 大輔	65	おやもこも きんぎょにこころ そだてられ
			親も子も 金魚に心 育てられ
		66	ながすまち きんぎょがまちじゅう およいでる
			長洲町 金魚が町じゅう 泳いでる
35	しおつ せいじ 塩津 誠治	67	こばなれや きんぎょにつけし すずしきな
			子離れや 金魚につけし 涼しき名
		68	すごもりに きんぎょのじかん ながれけり
			巣籠りに 金魚の時間 流れけり
36	はやしだ さちえ 林田 幸江	69	おとなりの きんぎょもらいて よろこべり
			おとなりの 金魚もらいて よろこべり
		70	きんぎょうり がくせいじだい おもいだす
			金魚売り 学生時代 思い出す
37	うらた よしこ 浦田 好子	71	おさなごと きんぎょすくいの おまつりよ
			幼子と 金魚すくいの お祭りよ
		72	しごととして いえにはいらず きんぎょみずかえ
			仕事して 家に入らず 金魚水換え
38	にしだ みちこ 西田 美智子	73	ねこのめも しらんぷりの きんぎょかな
			ねこの目も 知らんぷりの 金魚かな
		74	ていしゃばの さゆうにすわる きんぎょかな
			駐車場の 左右にすわる 金魚かな
39	まつおか さちこ 松岡 早智子	75	まごたちの きんぎょすくいの こえたかし
			まご達の 金魚すくいの 声高し
		76	どんぐりめ よばれなみだし でめきんの
			どんぐり目 呼ばれ涙し デメキンの
40	しかがわ すいこ 鹿川 すい子	77	きんぎょみて おさなきしこら おもいだす
			金魚見て 幼きしこら 思い出す
		78	まちわびる きんぎょすくいの できるひを
			待ちわびる 金魚すくいの できる日を

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
41	おいしい いつこ 大石 伊津子	79	すくはれて すぐにかぞくとなるきんぎよ 掬はれて すぐに家族となる金魚
		80	めにみえぬ てきとたたかい つづくなつ 目に見えぬ 敵と戦い つづく夏
42	やまもと ひろこ 山本 ヒロ子	81	きんぎよの およぐすがたに いやされし
		82	まつりの日 きんぎよすくいに おどるころ
43	こみね みえこ 小嶺 美恵子	83	でめきんの くるりまなこの かわいらし 出目金の くるり眼の 可愛らし
		84	とりのよう はぬるきんぎよの にさんびき 鳥のやう 跳ぬる金魚の 二三匹
44	ふじもと はつ 藤本 ハツ	85	てをぽんと たたいてきんぎよ よびよせる 手をポンと 叩いて金魚 呼びよせる
		86	おひれふり はなやかきんぎよ まいおどる 尾ひれふり 華やか金魚 舞い踊る
45	おの ともひろ 小野 智輔	87	やかいふく まとうおらんだ ししがしら 夜会服 纏ふ阿蘭陀 獅子頭
		88	りゆうきんの てんによがひれを ふるににて 琉金の 天女が領巾を 振るに似て
46	たなか やすお 田中 康雄	89	あおぐたび おうぎたゆたふ きんぎよかな あおぐたび 扇揺蕩ふ 金魚かな
		90	くらすほど めしもきんぎよも こえにけり 暮らすほどに 主も金魚も 肥えにけり
47	みやた けんぞう 宮田 賢三	91	ゆったりと きんぎよのやかた めのほよう 湯ったりと 金魚の館 目の保養
		92	みよ ながすはごろもりゆうきん りんとして 見よ ながす羽衣琉金 凜として
48	きのした かなこ 木下 可奈子	93	ろくしょうで すくうたあけは きんぎよかな 緑青で すくうた緋は 金魚かな
		94	はなびへと とびこむきんぎよ みずおどる 花火へと とびこむ金魚 水踊る

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
49	きのした じゅんこ 木下 順子	95	おをひろげ あいのかどでや しろきんぎょ
			尾を広げ 愛の門出や 白金魚
		96	みそめられ べにふかまりし きんぎょかな
			見初められ 紅深まりし 金魚かな
50	あきなが かんじ 秋永 貫慈	97	ひらひらひら きんぎょはみずの おうじよさま
			ひらひらひら 金魚は水の 王女様
		98	つゆばれの ゆうひをあびる きんぎょたち
			つゆばれの 夕日をあびる 金魚たち
51	たなか こうじろう 田中 厚次郎	99	くまもとの かおだながすの きんぎょたち
			熊本の 顔だ長洲の 金魚たち
		100	きんぎょうり ながすにんじよの こえがする
			金魚売り 長洲人情の 声がする
52	かわさか たかゆき 川坂 雄行	101	じしゆくちゆう きんぎょとかたり さけをのむ
			自肅中 金魚と語り 酒を飲む
		102	きんぎょたち ふうりんごしに みるはなび
			金魚たち 風鈴越しに 見る花火
53	あゆかわ しょうたろう 鮎川 章太郎	103	ころなうつ すくったきんぎょに すくわれり
			コロナ鬱 掬った金魚に 救われり
		104	めにきんぎょ ござにごろねの ひるさがり
			目に金魚 莫産にゴロ寝の 昼下がりに
54	あゆかわ さちこ 鮎川 幸子	105	がようしを はみだすあこの きんぎょかな
			画用紙を はみ出す吾子の 金魚かな
		106	めにきんぎょ みみにふうりん ながすなつ
			目に金魚 耳に風鈴 ながす夏
55	あゆかわ けいこ 鮎川 恵子	107	はつおうせ きんぎょをすくう てのしろき
			初逢瀬 金魚を掬う 手の白き
		108	いきをとめ きんぎょをすくう このかれん
			息を止め 金魚を掬う 子の可憐
56	なかむら たけのり 中村 武徳	109	げたさきに ちからのはいる きんぎょつり
			下駄先に 力の入る 金魚つり
		110	きみがきた ゆかたのきんぎょに なれもせず
			君が着た 浴衣の金魚に なれもせず

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
57	田島 直人	111	長洲発 地球に笑顔 金魚さん
		112	長洲から 銀河を目指せ 金魚ちゃん
58	畑野 フジコ	113	金魚にも 暑さを分かるか 夏の夜
		114	楽しんで フリフリダンス 始めるよ
59	えんどう こうじ 遠藤 晃司	115	ことしまた きんぎょすくいや にぎやかに 今年また 金魚すくいや 賑やかに
		116	くろきんぎょ ねらいさだめて ぼいをきり くろ金魚 ねらい定めて ポイをきり
60	おおの ゆうき 大野 裕貴	117	せっかちな うごめきんぎょに せかされて せっかちな 蠢く金魚に 急かされて
		118	らんちゅうが きんちやくぶくろで ごらんちゅう らんちゅうが 巾着袋で ご乱中
61	あきもと さとし 秋本 哲	119	ざいたくきんむやきんぎょのむひょうじょう 在宅勤務や金魚の無表情
		120	おおさかの きんぎょつつこみ いれそうな 大阪の 金魚ツツコミ 入れさうな
62	ばば すずよ 馬場 鈴代	121	さんみつを さけてきんぎょは およいでる 三密を 避けて金魚は 泳いでる
		122	にんげんが きんぎょだったら あらそわない 人間が 金魚だったら 争わない
63	ばば かずよし 馬場 和義	123	きんぎょよう ますくをつくれと まごがなく 金魚用 マスクを作れと 孫が泣く
		124	じしゅくちゅう ひがなきんぎょを ながめてる 自粛中 日がな金魚を 眺めてる
64	ほんたに しんじろう 本谷 眞治郎	125	あわひとつ はいてふりむく よのきんぎょ 泡一つ 吐いて振り向く 夜の金魚
		126	おびれふるほどにはきんぎょあいふれず 尾鰭ふるほどには金魚相ふれず

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
65	ごとうだ いくこ 後藤田 郁子	127	なつまつり でめきんねらい あみやぶれ
			夏祭 出目金ねらい 網破れ
		128	きんぎよまつ いえにかえれば ほつとなり
			金魚待つ 家に帰えれば ホツとなり
66	よしだ まこと 吉田 誠	129	なつのよの おもいであつめし きんぎよばち
			夏の夜の 思い出集めし 金魚鉢
		130	ふりうりの こえやみひるねの きんぎよかな
			ふり売りの 声止み昼寝の 金魚かな
67	はまぐち てつし 濱口 哲志	131	おさなきは ながすきんぎよと そだてられ
			幼期は ながす錦魚と 育てられ
		132	ゆうだちぬ ひるねりゆうきん そうおどり
			夕立ぬ 昼寝琉金 総踊り
68	のがみ たかし 野上 卓	133	いまにかう かぞくのさちの きんぎよかな
			居間に飼ふ、家族の幸の 金魚かな
		134	ひしゃさきを ついてながめる きんぎよかな
			飛車先を ついて眺める 金魚かな
69	まえだ ようこ 前田 葉子	135	じょうげせん ほーむにながす おおきんぎよ 上下線 ホームに長洲 大金魚
		—	—
		—	—
70	いしがき あきひこ (ようせい) 石垣 明彦 (俳号:葉星)	136	らんちゅうの あたまをふりて しっぽふる
			蘭鑄の 頭を振りて 尻尾振る
		137	すいちゅうに ときたまくちを あくきんぎよ
			水中に 時偶口を 開く金魚
71	うえだ さちこ 上田 幸子	138	もういっぴき かぞくをもとめ ながすたび
			もう一匹 家族を求め 長洲旅
		139	かなたらい みなものうきくさ きんぎよまう
			金タライ 水面の浮草 金魚舞う
72	みやもと じゅんいち 宮本 淳一	140	大勢の 小等の見に来る 金魚館
		141	五年後に 赤極めたる マイ金魚
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
73	みやもと きよこ 宮本 キヨ子	142	亡き祖母の 好きだった金魚 宝物
		143	金魚たち 待っているから 早帰ろう
74	いむら たかこ 井村 孝子	144	りょうあとう まごがすくった きんぎょたち 涼与う 孫がすくった 金魚たち
		145	なつのいろ きんぎょほおずき かきごおり 夏のいろ 金魚ほおずき かき氷
75	おかざき みのる 岡崎 実	146	はちつつき きんぎょはせかい たしかむる 鉢つつき 金魚は世界 確かむる
		147	こうきあつ はりだしきんぎょ うつになる 高気圧 張り出し金魚 うつになる
76	いながき まいこ 稲垣 舞子	148	たまゆらの こきょうゆらめき きんぎょのめ 玉響の 故郷ゆらめき 金魚の眼
		149	ゆかたおび みなしもたゆたう きみににて 浴衣帯 水下たゆたう 君に似て
77	やすかわ しおり 安川 葉	150	きんぎょすくい うんめいのであい まったたよ 金魚すくい 運命の出会い まったたよ
		151	うれしいな きんぎょといっしょに およぐゆめ うれしいな 金魚と一緒に 泳ぐ夢
78	中村 宗一	152	あしおとで しょくじのじかん しるきんぎょ 足音で 食事の時間 知る金魚
		153	ふうりゅうを こしてまなつの ぼいきょうぎ 風流を 越して真夏の ポイ競技
79	あやべ やすとも 綾部 保知	154	きんぎょうり さつてもやまぬ こらのこえ 金魚売り 去っても去まぬ 子らの声
		155	きんぎょみて あかいようふく こはねだり 金魚見て 赤い洋服 子はねだり
80	おおの みなみ 大野 美波	156	うききんぎょ そんざいかんが きみのごと 浮く金魚 存在感が キミのごと
		157	はつこいの ひとからきんぎょ もらいけり 初恋の 人から金魚 もらいけり

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
81	いまい えみ 今井 恵美	158	なつすずし ながすはごろもりゆうきんこゆ
			夏涼し ながす羽衣琉金肥ゆ
		159	ひのくにの きんぎよのおびれ おもおもし
			火の国の 金魚の尾びれ 重重し
82	つぐち まゆみ 津口 眞由美	160	ますくごし すくうきんぎよは みつなれり
			マスク越し すくう金魚は 密なれり
		161	きんぎよめで いとしやかわいや おのひいろ
			金魚愛で 愛しや可愛いや 尾の緋色
83	くりはら けんしょう 栗原 賢尚	162	でめきんの まんまるおなかを みてなごむ
			出目金の まん丸おなかを 見て和む
		163	よかしょうぶ きんぎよんはらと よめんはら
			よか勝負 金魚ん腹と 嫁ん腹
84	ほかり しんせん 穂刈 真泉	164	まんてんの きんぎよのえんぎ いきるとは
			満点の 金魚の演技 生きるとは
		165	りゆうきんの おひれのほめる つうちひょう
			琉金の 尾鰭の褒める 通知票
85	ほかり ようこ 穂刈 陽子	166	ごまんびきといふきんぎよが きみをまつ
			五万匹といふ金魚が 君を待つ
		167	つよきはぐ つよくかえすこ ししがしら
			強きハグ 強く返す子 獅子頭
86	うえはら みのる 上原 稔	168	ぱくぱくと きんぎよへいわを うったえる
			ぱくぱくと 金魚平和を 訴える
		169	りゆうきんに まごのなまえを つけている
			流金に 孫の名前を 付けている
87	むらかみ やちよ 村上 ヤチ代	170	ぼいやぶり きんぎょういんく したような
			ポイ破り 金魚ウインク したような
		171	ふうふのな きんぎよにつけて いくしむ
			夫婦の名 金魚に付けて 慈しむ
88	なかざき きみお 中崎 公夫	172	だくりゆうに のまれしいえの きんぎょいく
			濁流に 吞まれし家の 金魚生く
		173	しづかなる こうしゃでこらを まつきんぎよ
			しづかなる 校舎で子らを 待つ金魚

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
89	わかつき やすはる 若槻 泰治	174	はちのぞく きんぎよこどもに てれそまる 鉢覗く 金魚子供に 照れ染まる
		175	なつまつり すくうきんぎよに うでまくり 夏まつり 掬う金魚に 腕まくり
90	いのまた まゆ 猪俣 ま悠	176	てにすくう あわいきんぎよの おもたさよ 手に掬う 淡い金魚の 重たさよ
		177	ゆうばえの きんぎよはいまを すかしをり 夕映えの 金魚は今を 透かしをり
91	もり そういち 森 創一	178	おそうじで まつりでなくても すくわれる お掃除で 祭りであなくても すくわれる
		179	えんてんか ひらひらヴェールも あつそうだ 炎天下 ひらひらヴェールも 暑そうだ
92	もり はるな 森 晴菜	180	ふうりんの おとでゆらめく はちのみず 風鈴の 音でゆらめく 鉢の水
		181	すずしげな よかぜときんぎよと そらのはな すずしげな 夜風と金魚と 空の花
93	もり なおはる 森 尚春	182	このなつも ゆかたのすそで およいでる この夏も 浴衣の裾で 泳いでる
		183	きんぎよすくい ふろおけこんやの かりずまい 金魚すくい 風呂桶今夜の 仮住まい
94	もり みの 森 美濃	184	もうしょびに あわててはちの みずをかえ 猛暑日に あわてて鉢の 水を換え
		185	でめきんちゃん めとめがあつて ごあいさつ でめ金ちゃん 目と目があつて ごあいさつ
95	ひめの しゅんじ 姫野 俊治	186	みずのなか かがわくほうせき きんぎよたち 水の中 輝く宝石 金魚たち
		187	いつまでも おもいでこのこる きんぎよつり いつまでも 思い出残る 金魚つり
96	てしま みつこ 手嶋 満子	188	ごーとーで ながすきんぎよに あいにいく GOTOで 長洲金魚に 会いに行く
		189	ぱくぱくと みなもうごかす きんのうお パクパクと 水面動かす 金の魚

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
97	てしま いずみ 手嶋 いずみ	190	ころなかで いっしょにすごす きんぎよたち
			コロナ禍で 一緒に過ごす 金魚たち
		191	ざいたくちゆう ゆれるきんぎよに いやされる
			在宅中 ゆれる金魚に いやされる
98	あだち ゆき 足立 有希	192	ほろよいの きろはすりあし きんぎよてに
			ほろ酔いの 帰路はすり足 金魚手に
		193	きんぎよかい いってきますの こえはずむ
			金魚飼い「いってきます」の 声弾む
99	みのる 後藤 實	194	我が町は 金魚の歴史と 生きる町
		195	金魚にも 言葉は有りや 呼べば浮く
100	はやま きみこ 葉山 貴美子	196	わがとしを わすれてきんぎよ すくひけり
			吾が年を 忘れて金魚 すくひけり
		197	きんぎよにも あるじをえらぶ けんりあり
			金魚にも 主を選ぶ 権利あり
101	はやま たかひろ 葉山 高弘	198	でめきんの めだまにうつる まごのかお
			出目金の 目玉にうつる 孫の顔
		199	にらみあふ まごとでめきん うごかざる
			にらみ合ふ 孫と出目金 動かざる
102	よしの きよみ 吉野 キヨミ	200	こもりいの こによりゆけり わきんかな
			籠り居の 子に寄りゆけり 和金かな
		201	きんぎよつれ たんしんふにん うみわたる
			金魚連れ 単身赴任 海わたる
103	よしの ゆうじ 吉野 雄志	202	てれびげーむ じっとみている わきんかな
			テレビゲーム じっと見ている 和金かな
		203	あのきんぎよ まごにしたいと はははいう
			あの金魚 孫にしたいと 母はいう
104	よしの けいこ 吉野 佳子	204	りゆうきんや ひめぎみだけの ぶたふくわい
			琉金や 姫君だけの 舞踏会
		205	せうぢよから じゆくぢよまでゐる きんぎよかな
			少女から 熟女までゐる 金魚かな

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
105	このの ゆりか 河野 百合香	206	「りゆうきんをみならえ」ははに しかられる
			「琉金を見習え」母に しかられる
		207	らんちゅうと にらめっこする くるまいす
			蘭鑄と 睨めっこする 車いす
106	なかがわ ひさこ 中川 久子	208	てんくうを まうがごときの りゆうきんかな
			天空を 舞うが如きの 琉金かな
		209	きんぎょには てんによのごとき きひんあり
			金魚には 天女の如き 気品あり
107	よねもり のりこ 米盛 法子	210	ものなかの きんぎょころなか つゆしらず
			藻の中の 金魚コロナ禍 つゆ知らず
		211	ころなかも ものなかもゆく きんぎょかな
			コロナ禍も 藻の中も行く 金魚かな
108	よねもり たけひこ 米盛 竹彦	212	ものなかを きにせずすすむ きんぎょかな
			ものの中を 気にせず進む 金魚かな
		213	あねきんは あわをふいて あがりくる
			姉金は あわをふいて 上がりくる
109	よねもり あきひこ	214	すいすいと きんぎょがおよぐ みずのなか
			すいすいと 金魚がおよぐ 水の中
		215	ものなかを すいすいおよぐ きんぎょかな
			ものの中を すいすい泳ぐ 金魚かな
110	しおもと のぶこ 塩本 信子	216	ころなかの ふあんやすらぐ あかいでめ
			コロナ禍の 不安安らぐ 赤い出目
		217	あついねと いえばこたえる きんぎょいけ
			暑いねと いえば答える 金魚池
111	たかの てるよ 高野 輝代	218	ものほしで ちりんちりんは はごろもりゆうきん
			物干しで チリンチリンは 羽衣琉金
		219	きんぎょさん すていほーむは いっしょだよ
			金魚さん ステイホームは 一緒だよ
112	わたなべ えいふみ 渡邊 榮文	220	うすがみや つひにすくひし べにきんぎょ
			薄紙や 終に掬ひし 紅金魚
		221	かたごしに そぼのてつだふ きんぎょすくひ
			肩越しに 祖母の手伝ふ 金魚掬ひ

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
113	わたなべ かずよ 渡辺 和代	222	すいそうに さんねんものの おおきんぎよ
			水槽に 三年ものの 大金魚
		223	みせさきの すいそうにふとき くらきんぎよ
			店先の 水槽に太き 黒金魚
114	たかした やすゆき 高下 保幸	224	えんにちの よすがもみせぬ だいきんぎよ
			縁日の よすがも見せぬ 大金魚
		—	—
115	のぎき せいこ 野崎 精子	225	おもかげに ときめきいずこ きんぎよのきもち
			面影に ときめきいずこ 金魚の気持ち
		226	つれづれに きんぎよぞうしを ひもとけば
			つれづれに 金魚草子を 緋けば
116	のぎき まなぶ 野崎 学	227	りょうふうに きんぎよもそよぐ もゆるおもひ
			涼風に 金魚もそよぐ 燃ゆるおもひ
		228	しのばるる きんぎよのふるさと ながすちょう
			俣ぶるる 金魚のふるさと 長洲町
117	のぎき まさみ 野崎 まさみ	229	ひとひらの はなびらまいちる きんぎよばち
			ひとひらの 花びら舞い散る 金魚鉢
		230	さとびとの もゆるおもいよ きんぎよひめ
			里人の 燃ゆる思いよ 金魚姫
118	いまきたなぎさ 今北 渚	231	ひるさがり きんぎよもうたたね あくびする
			昼下がりに 金魚もうたた寝 あくびする
		232	ふるさとの よみせのきんぎよ いともはかなげ
			ふるさとの 夜店の金魚 いとも儂げ
119	いまきた まなみ 今北 真奈美	233	ほしまつり きんぎよもいおよぐ あまのがわ
			星祭り 金魚も泳ぐ 天の川
		234	ふるさとへ きんぎよのすずを みにまとひ
			ふるさとへ 金魚の鈴を 身に纏う
120	いまきた あおい 今北 葵	235	あさゆうに きんぎよにえさやり わがころいやさる
			朝夕に 金魚にえさやり 吾心癒さる
		236	ちぎりあひ きよきんぎよの すいきんのね
			契りあひ 清き金魚の 水琴の音

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
121	すが たけし 須賀 毅	237	たんしんの へやをしえあする きんぎよかな
			単身の 部屋をシェアする 金魚かな
		238	どれすきて かれにでびゆー まつきんぎよ
			ドレス着て 華麗にデビュー 待つ金魚
122	すが ますみ 須賀 ますみ	239	きんぎよから もらったわらい じわあまた
			金魚から もらった笑い 皺あまた
		240	あめあがり きんぎよにやどる にじのいろ
			雨上がり 金魚に宿る 虹の色
123	よしかわ ともこ 吉川 智子	241	だいぼしゆう ながすきんぎよの そだておや
			大募集 ながす金魚の育て親
		242	ちょうやばい ながすきんぎよが いとおしい
			超ヤバイ ながす金魚が愛おしい
124	よしかわ きょうこ 吉川 恭子	243	みつになり ながすきんぎよに いやされる
			密になり 長洲金魚に 癒される
		244	おんらいん ながすきんぎよを ほめちぎる
			オンライン 長洲金魚を 褒めちぎる
125	とみたか かんた とみたか かんた	245	くろでめきん へんしんしたよ あかいろに
			くろでめきん へんしんしたよ あかいろに
		246	すいすいと きんぎよみたいに およぎたい
			スイスイと きんぎよみたいに およぎたい
126	しょうじ あかね 小路 あかね	247	りゆうきんを きみのなでよぶ ゆうまぐれ
			琉金を 君の名で呼ぶ 夕間暮れ
		248	はくちゆうの ゆめをきんぎよに たべさせる
			白昼の 夢を金魚に 食べさせる
127	ただまさ いぶき 忠政 威吹	249	いいわけを ならべきんぎよを ははにたくす
			言い訳を 並べ金魚を 母に託す
		250	きんぎよかう がいしゆつじしゆくに なすすべなし
			金魚飼う 外出自粛に 為す術なし
128	こう じんじゆん 高 珍亨	251	あまぐもが きえひかりさす きんぎよばち
			雨雲が 消え光差す 金魚鉢
		-	-

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
129	さいとう しお 齊藤 志桜	252	ほうせきが すきとおるみず きんぎよだま 宝石が 透き通る水 金魚玉
		253	きんぎよばち ながれるみずの ぐらでーしょん 金魚鉢 流れる水の グラデーション
130	まさき あみ 正木 亜実	254	ひとのてを のぞきこんだら きんぎよあり 人の手を 覗き込んだら 金魚あり
		255	きんぎよもち はにかむきみに こいをする 金魚もち はにかむ君に 恋をする
131	みやした まひろ 宮下 真央	256	きんぎよもち ぽりちようちんの ともるみち 金魚もち ポリ提灯の 灯る道
		257	きんぎよすくい みなもにうつる はなのがら 金魚すくい 水面に写る 花の柄
132	もり いぶき 森 伊吹	258	おまつりを きんぎよとともに たのしむぞ お祭りを 金魚と友に 楽しむぞ
		259	きんぎよちゃん なぜせわしても ほごできぬ 金魚ちゃん なぜ世話しても 保護できぬ
133	よし ゆうた 良 裕太	260	あかとくろ いりまじりたる きんぎよかな 赤と黒 入り混じりたる 金魚かな
		261	でめきんの しやでせかいを みてみたい 出目金の 視野で世界を 見てみたい
134	かつまた ふみこ 勝俣 文子	262	げんかんに あかるくしたる きんぎよかな 玄関を 明るくしたる金魚かな
		263	めろでいーに ゆるるきんぎよの ひかりけり メロディーに 揺るる金魚の 光りけり
135	にしむら よしかず 西村 芳和	264	きんぎよばち みがいてうつる おれのかお 金魚鉢 磨いて映る 俺の顔
		265	でめきんが ぎよろりみすえる みらいちず 出目金が ギョロリ見据える 未来地図
136	まつおか かよこ 松岡 加代子	266	おさなごや きんぎよのはかに はないちりん 幼子や 金魚の墓に 花一輪
		267	でめきんの ほもさぴえんすを みていたり 出目金の ホモサピエンスを 見てゐたり

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
137	しばた きょうう 柴田 恭雨	268	みずにあき ひとつあわはく きんぎよかな
			水に飽き ひとつ泡吐く 金魚かな
		269	きんぎよすくい たもとぬらして はしやぐこら
			金魚すくい 袂濡らして はしやぐ子ら
138	やまだ あきら 山田 明	270	へいぼんな きんぎよこいして あかくなり
			平凡な 金魚恋して 赤くなり
		271	ひとまねて きんぎよをねこが ねらってる
			人まねて 金魚を猫が 狙ってる
139	せきね とみこ 関根 登美子	272	まうように はごろもりゆうきん ふわふわと
			舞うように 羽衣琉金 ふわふわと
		273	もういまは かぞくとになって いたきんぎよ
			もう今は 家族となって いた金魚
140	しま よしじ 嶋 良二	274	ひじついて けふもきんぎよと にらめっこ
			肘ついて 今日も金魚と にらめっこ
		275	えんじらの はじめのおはよう きんぎよばち
			園児らの はじめのおはよう 金魚鉢
141	となか はるよ 戸中 はる代	276	ねてるつま かわりきんぎよが おでむかえ
			寝てる妻 代わり金魚が お出迎え
		277	おちつかぬ せけんさておき まうきんぎよ
			落ち着かぬ 世間さておき 舞う金魚
142	ふくもと みやこ 福本 みや子	278	きんぎよばち あぶくひとつに なにをとう
			金魚鉢 あぶくひとつに 何を問う
		279	めがあって おびれにさそわれ きんぎよのさとへ
			目が合って 尾びれに誘われ 金魚の郷へ
143	中山 清	280	おまつりで うちのきんぎよの よめさがし
			お祭りで うちの金魚の 嫁探し
		281	ビー玉で 孫がリフォーム 金魚鉢
144	ながた こうじ 永田 耕司	282	ひらひらと はごろもりゆうきん ひらひらり
			ひらひらと 羽衣琉金 ひらひらり
		283	みつさけり われらよりそう きんぎよばち
			密避けり 我ら寄り添う 金魚鉢

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
145	さわだ こうた 澤田 孝太	284	まつりなく ことしはくうの きんぎよだま
			祭なく 今年(ことし)は空(くう)の 金魚玉
		285	ゆうぞらに きんぎよがとけて しょうじょうひ
			夕空(ゆうぞら)に 金魚(きんぎよ)が溶けて 猩々緋(しょうじょうひ)
146	いなはた こうへい 稲畑 航平	286	きょうだいの きんぎよみている なかなおり
			兄妹(きょうだい)の 金魚(きんぎよ)見てゐる 仲なほり
		287	ありあけの あおくしづけし きんぎよだま
			有明(ありあけ)の 碧く(あおく)しづけし 金魚玉
147	いずもと よしひこ 和泉元 良彦	288	すいそうの きんぎよもしずか てれわーく
			水槽(すいそう)の 金魚(きんぎよ)も静か(しずか) テレワーク
		289	ふるさとや きんぎよにそまる なつまつり
			ふるさとや 金魚(きんぎよ)に染まる(そまる) 夏祭り
148	えんどう れな 遠藤 玲奈	290	きてきに こたへてたゆたふ きんぎよのお
			汽笛(きてき)に 応えて(こたへて)たゆたふ 金魚(きんぎよ)の尾
		291	あぶくにて きんぎよのかたる むねのうち
			あぶくにて 金魚(きんぎよ)の語る(かたる) 胸の内(むねのうち)
149	こさか たけひろ 小坂 武弘	292	きんぎょうり くらくてめだつ ますくがお
			金魚(きんぎょう)売り(り) 黒くて(くらくて)目立つ(めだつ) マスク顔(ますくがお)
		293	ああかなし きんぎよすくえず ぽいすてに
			アア悲し(ああかなし) 金魚(きんぎよ)救えず(すくえず) ポイ捨て(ぽいすて)に
150	おおつぼ さとる 大坪 覚	294	きんぎよみる おとなのかおは みなこども
			金魚(きんぎよ)見る(みる) 大人(おとな)の顔(かお)は みな子供(こども)
		295	おさなきひ きんぎよがしんだ きおくなく
			幼き日(おさなきひ) 金魚(きんぎよ)が死んだ(しんだ) 記憶(きおく)なく
151	こばやし かずお 小林 一雄	296	えさたべる きんぎよのしぐさ じっとみる
			エサ食(えさた)べる 金魚(きんぎよ)のしぐさ じっと見る
		297	ゆびさきに ちかよるきんぎよ あいらしい
			指先(ゆびさき)に 近寄(ちかよ)る金魚(きんぎよ) 愛(あい)らしい
152	ながの ゆうこ 長野 ゆう子	298	いざあるけ えきのきんぎよに むかえられ
			いざ歩(いざあ)りけ 駅(えき)の金魚(きんぎよ)に迎(むか)えられ
		299	あさゆうに ながすきんぎよの まつえきへ
			朝夕(あさゆう)に 長洲(ながす)金魚(きんぎよ)の 待(まつ)つ駅(えき)へ

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
153	いなだ ひろみ 稲田 博美	300	きんぎょすくい かりねのやどは かなだら
			金魚すくい 仮寝の宿は 金だら
		301	そでまくる ゆかたのえがら でめきんぎょ
			袖まくる 浴衣の絵柄 出目金魚
154	ふくち もえ 福地 萌	302	なつまつり きんぎょがあみに したをだす
			夏祭り 金魚が網に 舌を出す
		303	なつびさす まどべにすずしく おどるあか
			夏日差す 窓辺に涼しく 踊る朱
155	たておか かずこ 楯岡 和子	304	コロナ禍や 金魚出番を 奪はれし
			客迎ふ 駅のらんちゅう 空仰ぐ
		305	客迎ふ 駅のらんちゅう 空仰ぐ
			客迎ふ 駅のらんちゅう 空仰ぐ
156	たじり たかし 田尻 孝志	306	金魚売り 歌うが如く 流す(長洲)かな
			—
		—	—
			—
157	なかしま のりお 中島 紀生	307	でめきんの すいそうごしの よじじゆくご
			出目金の 水槽越しの 四字熟語
		308	うきしずみしてらんちゅうの ひるさがり
			浮き沈みして蘭鑄の 昼下が
158	たかの まなみ 高野 真瞳	309	ささやきの もれくるきんぎょ みてあかず
			囁きの 洩れくる金魚 見て飽かず
		310	らんちゅうや ながすえきより はっしんす
			らんちゅうや 長洲駅より 発進す
159	たかの きよこ 高野 清子	311	なにしおふ えきにきんぎょの おでむかえ
			名にし負ふ 駅に金魚の お出迎え
		312	たいさくに きんぎょたいそう しょうれいす
			対策に 金魚体操 奨励す
160	たかはし はじめ 高橋 基	313	まつりなく ころなぶとりの きんぎょたち
			祭り無く コロナ太りの 金魚たち
		314	えんにちの きんぎょかってと ぼんおどり
			縁日の 金魚買ってと 盆踊り

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
161	ごうぞの かずあき 郷園 和明	315	きんたかね むくなきんぎよに おしえけり
			金高値 無垢な金魚に 教えけり
		316	すいそうの きんぎよもおれを かつている
			水槽の 金魚も俺を 飼っている
162	いのうえ えいいち 井上 英一	317	でめきんや りょうどなりには たこやきや
			出目金や 両隣には タコ焼き屋
		318	どれすきて おどるびぼうの きんぎよかな
			ドレス着て 踊る美貌の 金魚かな
163	いのうえ のぶこ 井上 信子	319	こせいてき ひごもっこすか このきんぎよ
			個性的 肥後もっこすか この金魚
		320	きんぎよばち ふるさとこいし くまもとべん
			金魚鉢 ふるさと恋し 熊本弁
164	むらやま かつみ 村山 勝美	321	じしゆくして にらめっこする きんぎよばち
			自粛して にらめっこする 金魚鉢
		322	えんがわに きんぎよながめて つめしょうぎ
			縁側に 金魚眺めて 詰将棋
165	とみやま つとむ 富山 勉	323	かぶともて いざしゅつじんや ししがしら
			兜もて いざ出陣や シシガシラ
		324	ははかひし きんぎよのゆめを すくひけり
			母飼ひし 金魚の夢を 掬ひけり
166	すなやま けいこ 砂山 恵子	325	さびしいと いうてきんぎよを こうてくる
			寂しいと 言うて金魚を 買うてくる
		326	きんぎよだま ゆすりやきんの はじまりぬ
			金魚玉 揺すり夜勤の 始まりぬ
167	まえはら たかし 前原 崇	327	うえぶかいぎ うつるところに きんぎよおき
			ウェブ会議 映るところに 金魚置き
		328	よのむーど あかるくかえる きんぎよかな
			世のムード 明るく変える 金魚かな
168	まえはら みちこ 前原 道子	329	なごんでる きんぎよとあくび うつしあう
			和んでる 金魚とあくび うつしあう
		330	とつぐあさ てをふるだけの ちちとでめ
			嫁ぐ朝 手を振るだけの 父と出目

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
169	すずき さゆり 鈴木 小百合	331	にらめっこ でめきんのめの さだまらぬ
			にらめっこ 出目金の目の 定まらぬ
		332	のたりのたり ふりふりおよぐ きんぎよかな
			のたりのたり ふりふり泳ぐ 金魚かな
170	のじま まゆみ 野嶋 真由美	333	きんぎよすくい きみとのきよりが ちかくなる
			金魚すくい 君との距離が 近くなる
		334	みならいたい ぼーかーふえいす きんぎよたち
			見習いたい ポーカーフェイス 金魚たち
171	たかむね しゅうすい 高宗 秋水	335	おひれふる ずんばのりずむ きんぎよかな
			尾鰭ふる ズンバのリズム 金魚かな
		336	さんびやくろくじゅうど かめらのごとき きんぎよばち
			三百六十度 カメラのごとき 金魚鉢
172	しいば きみこ 椎葉 公子	337	きんぎょうり てんびんぼうに ゆめとさち
			金魚売り 天秤棒に 夢と幸
		338	くぎづけは あわくようえん ものきんぎよ
			釘付けは 淡く妖艶 藻の金魚
173	あおやぎ ふみこ 青柳 婦美子	339	うつりこむ きんぎよになごむ うえぶかいぎ
			映り込む 金魚に和む WEB会議
		340	さとのはは じっかのきんぎよを うえぶじっきょう
			さとの母 実家の金魚を WEB実況
174	しかだ まさこ 鹿田 正子	341	しょくじどき しせんかんじる きんぎよばち
			食事時 視線感じる 金魚鉢
		342	ぜんぱいに そつといっぴき きんぎょうり
			全敗に そつと一匹 金魚売り
175	いなば たかひろ 稲葉 崇裕	343	すずしげに まなつもおよぐ きんぎよたち
			涼しげに 真夏も泳ぐ 金魚達
		344	がらすごし あいこんたくと わがきんぎよ
			ガラス越し アイコンタクト 我が金魚
176	おおすが かずお 大須賀 一夫	345	なつまつり きんぎよすくえば ほつとする
			夏祭り 金魚すくえば ほつとする
		346	きんぎよばち みとれるこども いとたのし
			金魚鉢 見惚れる子ども いと楽し

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
177	みずの ゆうが 水野 結雅	347	びょういんの でめきんのひれ うすきこと
			病院の 出目金のひれ 薄きこと
		348	したるうろこや ししがしら
			白光りしたる鱗や 獅子頭
178	みぎた としろう 右田 俊郎	349	ものうげに あぶくをひとつ はくきんぎよ
			もの憂げに 泡をひとつ 吐く金魚
		350	ねったいや きんぎよとともに たえるひび
			熱帯夜 金魚とともに 耐える日々
179	みずの たいが 水野 大雅	351	ながいきで きさうきんぎよの おのゆるる
			長生きで きさう金魚の 尾の揺るる
		352	そのかげの やはらかくゆる きんぎよだま
			その影の やはらかく揺る 金魚玉
180	ふじまる じゅんこ 藤丸 純子	353	なつきたる きみもあなたも りははげむ
			夏来たる 君も私も リハ励む。
		354	かみやぶり きんぎよするりと にげてゆく
			紙破り 金魚するりと 逃げてゆく
181	うのき よしとも 宇野木 義友	355	絵の如く 長洲名物 泉み沸く
		356	ランチウや 長洲王には シシガシラ
182	いとう きょうこ 伊藤 京子	357	ひとりいの ふろにきんぎよの みずをかふ
			独り居の 風呂に金魚の 水を替ふ
		358	みずばちに よればきんぎよの なつきくる
			水鉢に 寄れば金魚の 懐き来る
183	まつなが けいこ 松永 慶子	359	よがよなら きんぎよはひごの ひめぎみか
			世が世なら 金魚は肥後の 姫君か
		360	みなもにも うるわしさのよいん おいてゆき
			水面にも 美しさの余韻 置いてゆき
184	まつなが そら 松永 蒼	361	ふうりんと きんぎよかがやく なつのいろ
			風鈴と 金魚輝く 夏の色
		362	すみわたる しみずのなかの きんぎよかな
			澄みわたる 清水の中の 金魚かな

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
185	まつなが あおい 松永 葵	363	こがねうお いろどれきよみず かぜすずし 金魚 彩れ清水 風涼し
		364	なつぞらに きんぎよでそまる りょうすいあり 夏空に 金魚で染まる 涼水あり
186	おのうえ れんた 尾上 蓮太	365	なつまつり ぽいですくわれ ぜったいぜつめい 夏祭り ポイですくわれ 絶体絶命
		—	—
187	かわはら さくら 川原 桜花	366	さかなのなかで ちいさくかわいい きんぎよたち 魚の中で 小さくかわいい きんぎよたち
		—	—
188	きむら たくや 木村 拓也	367	にんきもの ふれきんちゃん で まちおこし 人気者 ふれきんちゃん で 町おこし
		368	なつまつり ひとときんぎよで おにごっこ 夏祭り 人と金魚で 鬼ごっこ
189	ふじき そら 藤木 青空	369	なつのひに みずべにひかる きんぎよたち 夏の日 に 水辺に光る 金魚たち
		—	—
190	ちんどう かつはる 珍道 勝春	370	なつまつり きんぎよすくい は むずかしい 夏祭り 金魚すくい は 難しい
		371	いのちがけ そらからさぎが ねらってる 命がけ 空からさぎが ねらってる
191	にしやま とわ 西山 永遠	372	なつまつり ぽいからにげて いのちびろい 夏祭り ポイから逃げて 命びろい
		—	—
192	みやもと りょうへい 宮本 涼平	373	まちなかを あかるくするよ ふれうりし 町中を 明るくするよ ふれうりし
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
193	さきさか すみか 崎坂 純香	374	なつまつり ゆうがにおよぐ はいごにほい 夏祭り 優がに泳ぐ 背後にポイ
		—	—
194	ながはま はいね 長濱 羽衣音	375	まつりなし ことしのきんぎよは どこへやら 祭りなし 今年の金魚は どこへやら
		376	あついなか きんぎよみて ひとやすみ 暑い中 金魚見て 一休み
195	ふじき あんり 藤木 杏吏	377	すいそうに はなをさかす きんぎよかな 水そうに 花をさかす 金魚かな
		—	—
196	ますとう ゆき 増藤 有紀	378	えさもつと きんぎよのくちが ならんでる えさ持つと 金魚の口が 並んでる
		—	—
197	ほんだ ももな 本田 桃菜	379	ぼいのうえ じたばたおどる きんぎよたち ポイの上 じたばた踊る 金魚たち
		—	—
198	まつおか りょうすけ 松岡 遼介	380	えんがわを およぐすがたは てんによかな 縁側を 泳ぐ姿は 天女かな
		—	—
199	あらき ゆい 荒木 ゆい	381	きんぎよすくい なかまとわかれ さびしいな 金魚すくい なかまと別れ さびしいな
		—	—
200	うえの らん 上野 藍	382	なつまつり かいぬしきまる しんすたーと 夏祭り 飼い主決まる 新スタート
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
201	やまぐち ろか 山口 六花	383	なつまつり きんぎよのすがたみ すずむわれ 夏祭り 金魚の姿見 涼む我
		—	—
202	もろふじ ふうき 諸藤 颯聖	384	きんぎよのおう そのなまえは ふれきんちゃん 金魚の王 その名前は ふれきんちゃん
		—	—
203	さるわたり ここな 猿渡 心和	385	なつまつり みんなとたのしく きんぎよすくい 夏祭り みんなと楽しく 金魚すくい
		—	—
204	おおさき すずな 大崎 涼凧	386	ぴちぴちと はねるきんぎよと やぶれるぼい ぴちぴちと はねる金魚と やぶれるポイ
		—	—
205	さきやま りん 崎山 凜	387	なつのひに あつさにまけず およぐきんぎよ 夏の日に 暑さにまけず 泳ぐ金魚
		—	—
206	よしもと なつき 吉本 夏己	388	なつまつり およぐきんぎよも たのしそう 夏祭り 泳ぐ金魚も 楽しそう
		—	—
207	うちだ かずき 内田 和樹	389	こうはくの ゆうがにおよぐ きんぎよたち 紅白の 優雅に泳ぐ 金魚たち
		—	—
208	ふじもと まお 藤本 真央	390	ゆらゆらと すいちゆうさんぽの きんぎよたち ゆらゆらと 水中散歩の 金魚たち
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
209	にしだ しおん 西田 紫音	391	なつまつり かぞくみんなで きんぎよすくい 夏祭り 家族みんなで 金魚すくい
		—	—
210	いとう しんご 伊藤 慎悟	392	みていると あかいほうせき おどってる 見ていると 赤い宝石 おどってる
		—	—
211	しまさき りょうた 島崎 亮太	393	きんぎよたち どこへでかける おしゃれして 金魚たち どこへ出かける オシャレして
		—	—
212	まつうら さえ 松浦 紗依	394	なつまつり きんぎよとめがあい こいのよかん 夏祭り 金魚と目が合い コイの予感
		395	ぎよろぎよると めでうったえる めしくれと ぎよろぎよると 目でうったえる 飯くれと
213	しおやま しょうた 塩山 翔大	396	かいせいの たいかいゆめみる きんぎよかな 快晴の 大海夢みる 金魚かな
		—	—
214	うめむら ともき 梅村 知己	397	のしこらさい きんぎよとぼくの おにごっこ のしこら祭 金魚とぼくの おにごっこ
		398	でめきんの しやはどれだけ ひろいのか 出目金の 視野はどれだけ 広いのか
215	やまさき しんた 山崎 心大	399	なつまつり すくってもらい おひっこし 夏祭り すくってもらい お引越し
		—	—
216	せざき ゆうき 瀬崎 祐希	400	すいちゆうを ゆかたでおどる マーメイド 水中を 浴衣でおどる マーメイド
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
217	ふじもと ちひろ 藤本 千尋	401	ひれゆらり ふりそではおる きんぎよかな
			ひれゆらり ふりそではおる 金魚かな
		402	たいかいへ おもいをはせる きんぎよかな
			大海へ 思いをはせる 金魚かな
218	やまもと れんと 山本 蓮翔	403	およぐほうせき みるだけで こころのいやし
			泳ぐ宝石 見るだけで 心のいやし
		—	—
219	たなか ひなこ 田中 日菜子	404	がらすごし おこるきんぎよと にらめっこ
			ガラス越し 怒る金魚と にらめっこ
		—	—
220	ひがしだ たくま 東田 拓真	405	なつまつり さいしゅうしんさ ぼいのうえ
			夏祭り 最終審査 ぼいの上
		—	—
221	にしかわ ゆうり 西川 侑里	406	すいすいと およぐきんぎよが うらやましい
			スイスイと 泳ぐ金魚が うらやましい
		407	かんせいと とともにすくわれる きんぎよかな
			歓声と とともにすくわれる 金魚かな
222	前田 蒼空	408	にどみする ぱんだのような きんぎよかな
			二度見する パンダのような 金魚かな
		—	—
223	くにむら わかな 国村 若菜	409	きてみたい きんぎよのまとう きれいなどれす
			着てみたい 金魚のまとう きれいなドレス
		—	—
224	にしやま りお 西山 莉央	410	ひらひらと およぐきんぎよは パフォーマー
			ひらひらと 泳ぐ金魚は パフォーマー
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
225	やまむろ せいご 山室 誠護	411	口ぱくぱく おなかをすかせた 金魚さん 口パクパク おなかをすかせた 金魚かな
		—	—
		—	—
226	みぞぐち こうき 溝口 耕生	412	ふうりんの かげがゆらゆら きんぎよばち 風鈴の 影がゆらゆら 金魚鉢
		—	—
		—	—
227	はしもと しき 橋本 志希	413	なつまつり きんぎよはみんな すくわれる 夏祭り 金魚はみんな すくわれる
		—	—
		—	—
228	はまさき おうすけ 濱崎 央佑	414	きんぎよだって じぶんのいばしょを えらびたい 金魚だって 自分の居場所を 選びたい
		—	—
		—	—
229	ながた さくたろう 永田 朔太郎	415	なつまつり きょうからかぞく よろしくね 夏祭り 今日から家族 よろしくね
		—	—
		—	—
230	吉野 心葉	416	にらめっこ かわいいきんぎよと あっぷっぷ にらめっこ かわいい金魚と あっぷっぷ
		—	—
		—	—
231	よこやま ももな 横山 桃菜	417	わたしのかえりを いえでまつ きんぎよ 私の帰りを 家で待つ 金魚
		—	—
		—	—
232	くにざき まさよし 國崎 雅嘉	418	ねえみてよ わたしのせびれ きれいでしょ ねえ見てよ 私の背びれ きれいでしょ
		—	—
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
233	奥村 菜々子	419	あいたいよ むかしまいたいに あそびたい
			あいたいよ 昔みたいにあそびたい
		420	みずのなか ひらひらおどる ぶとうかい
			水の中 ヒラヒラおどる 舞踏会
234	つるた りな 鶴田 莉菜	421	うごくきんぎょ ゆうゆうと まるでアート
			動く金魚 ゆうゆうと まるでアート
		—	—
235	井ノ口 莉子	422	みずのなか ぱくぱくえがおの きんぎょたち
			水の中 パクパク笑顔の 金魚たち
		—	—
236	中山 聖理	423	わがまちで しんしゆのきんぎょ うまれたよ
			我が町で 新種の金魚 生まれたよ
		—	—
237	まつお りあら 松尾 莉愛羅	424	すいそうで ゆうがにおよぐ きんぎょたち
			水そうで ゆうがに泳ぐ 金魚たち
		425	ゆらゆらと きんぎょがおどる ぶとうかい
			ゆらゆらと 金魚が踊る 舞踏会
238	あべ そうし 阿部 蒼士	426	かるやかな うごきでひとを みりようする
			軽やかな 動きで人を 魅了する
		—	—
239	こばやし りょうた 小林 亮太	427	ながすえき おおきなきんぎょが おでむかえ
			長洲駅 大きな金魚が お出迎え
		—	—
240	たなり ゆうき 田成 幸樹	428	すくわれて つぎはどこかな ぼくのいえ
			すくわれて 次はどこかな 僕の家
		429	ふうりんの りずむでおどる きんぎょたち
			風鈴の リズムで踊る 金魚たち

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
241	出村 綾都	430	ながすえき きんぎよのたいしょう ちんぎする
			長洲駅 金魚の大將 鎮座する
		431	りゆうきんは はなびのような ひれをもつ
			琉金は 花火のような ひれをもつ
242	おいしい しほ 大石 志穂	432	かえりみち きんぎよのあかと そらのあか
			帰り道 金魚の紅と 空の赤
		—	—
243	大関 陽南	433	きんぎよすくい なかまとわかれ さびしいな
			金魚すくい 仲間と別れ 寂しいな
		—	—
244	おの みれい 小野 美玲	434	なつまつり きんぎよはひとを えらべない
			夏祭り 金魚は人を 選べない
		—	—
245	金森 美空	435	しんいりさん いえのきんぎよと にらめっこ
			新入りさん 家の金魚と にらめっこ
		436	なつまつり きんぎよはにげるが はさみうち
			夏祭り 金魚逃げるが はさみうち
246	しげみ ももか 茂見 百百加	437	みずのなか ゆうがにゆれる あかいはな
			水の中 ゆうがにゆれる 赤い花
		438	ぼいがくる どこへいこうと にげばなし
			ポイがくる どこへいこうと 逃げ場なし
247	ひまき ゆい 日巻 結	439	ひらひらと ゆうやけにはえる きんぎよかな
			ひらひらと 夕焼にはえる 金魚かな
		440	ふれうりの せなかとゆれる きんぎよたち
			ふれうりの 背中とゆれる 金魚たち
248	まえはら まりん 前原 茉凜	441	ひらひらと ひれをうごかし だんすする
			ひらひらと ひれを動かし ダンスする
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
249	まぶち あおい 馬淵 葵	442	おおきいめ ちいさなえさも みのがさず 大きい目 小さなえさも 見逃さず
		—	—
250	おがた まりい 緒方 まりい	443	ひらひらと ひれをふって じこアピール ひらひらと ひれをふって 自己アピール
		444	きんぎょすくい ひっしににげる きんぎょたち 金魚すくい 必死に逃げる 金魚たち
251	よこお はるか 横尾 悠	445	すずしげな ふうりんみつめる きんぎょかな 涼しげな 風鈴見つめる 金魚かな
		—	—
252	なかしま こうき 中島 彪稀	446	くちとひれで「くれよ、くれよ。」と 知っている 口とひれで「くれよ、くれよ。」と 言っている
		—	—
253	ながえ みずき 永江 瑞輝	447	めぢからと ひれなびかせて みりょうする 目力と ひれなびかせて 魅了する
		—	—
254	ながお まさむね 長尾 正宗	448	たるのなか はやくでたいと ねがうきんぎょ たるの中 早く出たいと 願う金魚
		—	—
255	きたざき れい 北崎 羚	449	きもちよく およいでいる おれんちのきんぎょ 気持ちよく 泳いでいる 俺んちの金魚
		—	—
256	はらぐち ともかず 原口 俱一	450	すいそうを あざやかにする きんぎょたち 水そうを あざやかにする 金魚たち
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
257	もりた こはく 守田 虎白	451	なつまつり にんきものだよ きんぎょたち 夏祭り 人気者だよ 金魚たち
		—	—
258	かわじり ゆま 川尻 侑舞	452	なつのように ふくろごしから みるけしき 夏の夜に 袋越しから 見る景色
		453	ごはんまだ? ぱくぱくいうよ きんぎょたち ご飯まだ? ぱくぱくいうよ 金魚たち
259	よねだ るな 米田 瑠菜	454	ふうりんと とともにゆれてる みずのなか 風鈴と 共にゆれてる 水の中
		455	ふうりんと ゆれるきんぎょも すずしげだ 風鈴と ゆれる金魚も 涼しげだ
260	ちよむら さちか 千代村 幸香	456	きんぎょばち きれいなきんぎょ いやされる 金魚ばち きれいな金魚 いやされる
		—	—
261	はまおか みう 濱岡 美羽	457	かわいいな ぴんぽんぱーる いいひびき かわいいな ピンポンパール いい響き
		—	—
262	むらい まな 村井 愛	458	あさみると げんきがなくて えさをやる 朝見ると 元気がなくて エサをやる
		—	—
263	たかまつ はるか 高松 春花	459	きれいでしょ わたしのひれが ひらりとね きれいでしょ 私のひれが ひらりとね
		460	まつりはね きんぎょがいるよ さあみよう まつりはね 金魚がいるよ さあ見よう
264	きたがわ ひろと 北川 大翔	461	ゆうがだな きれいになびく 金魚の尾
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
265	うじま はるひ 牛島 悠陽	462	かわいいな きんぎよのいろが さくらいろ かわいいな 金魚の色が 桜色
		—	—
266	ひがしやま こうき 東山 幸生	463	かわいいな 小さな金魚 かわいいな
		—	—
267	こじょう にしき 小城 錦	464	きんぎよばち くろいほうせき きれいだな 金魚鉢 黒い宝石 きれいだな
		—	—
268	たさき なるみ 田崎 愛海	465	つれてかれ たのしいまいにち うれしいな つれてかれ 楽しい毎日 うれしいな
		466	ひとびとの ころをつかむ りゆうきんたち 人々の 心をつかむ 琉金たち
269	よこお しゆん 横尾 駿	467	ゆらゆらと 赤いうろこが 君てらす
		—	—
270	みやむら あいか 宮村 愛華	468	きれいだな どれすのような あのおびれ 綺麗だな ドレスのような あの尾びれ
		—	—
271	ひろせ はると 廣瀬 温人	469	きんぎよばち ゆらゆらおよぐ あかざかな 金魚鉢 ゆらゆら泳ぐ 赤魚
		470	真夏の夜 とったばかりの 赤金魚
272	まえだ ひなの 前田 陽菜乃	471	ひらひらり あかいどれすで おどってる ひらひらり 赤いドレスで おどってる
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
273	うえすぎ たく 上杉 拓	472	ながすのたみ みんながしってる びのさかな
			長洲の民 みんなが知ってる 美の魚
		473	びのさかな みんなにあいされ えいえんに
			美の魚 みんなに愛され 永遠に
274	かわしま ゆうだい 川島 雄大	474	なつまつり ひとりでたのしむ いおすくい
			夏祭り 一人で楽しむ 魚すくい
		—	—
275	みやもと ぎんが 宮本 煌雅	475	なつまつり ぽいからにげる あかいうお
			夏祭り ぽいから逃げる 赤い魚
		476	きんぎょたち ひれをゆうがに ゆらゆらと
			金魚たち ひれを優雅に ゆらゆらと
276	おき まお 沖 真生	477	あさおきる きんぎょをみると うかんでる
			朝起きる 金魚をみると 浮かんでる
		—	—
277	たきぐち しゅんや 瀧口 竣也	478	なつまつり おうごんすがた きれいだね
			夏祭り 黄金姿 きれいだね
		—	—
278	しめい るいと 仕明 琉壺虎	479	うれしいな えらんでくれて ありがとう
			かわいいな およぐほうせき いやされる
		480	かわいいな およぐほう石 いやされる
279	みぞかみ はると 溝上 悠斗	481	すいそうで およぐきんぎょに みとれちゃう
			水そうで 泳ぐ金魚に 見とれちゃう
		—	—
280	はりがや しおん 針谷 詩音	482	ひらひらと およぐきんぎょは きれいだな
			ひらひらと 泳ぐ金魚は きれいだな
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
281	のばた そうたろう 野畑 蒼太郎	483	かわいいな ふれきんちゃん と ツーショット
		484	金魚すくい 高すぎるだろ!! その値代
282	むろざき かずま 室崎 一真	485	きんぎょたち ながすのほこり かがやきけり 金魚たち 長洲の誇り 輝きけり
		486	ながすまち だいこくばしら きんぎょたち 長洲町 大黒柱 金魚達
283	しおざき みう 塩崎 未侑	487	赤きんぎょ さあ夏祭り 楽しみだ
		—	—
284	はりがや れおん 針谷 蓮音	488	きんぎょ きょうもげんきな おさかなさん 金魚 今日も元気な お魚さん
		—	—
285	きくがわ ゆめ 菊川 夢々	489	きんぎょみて あのひのころに もどりけり 金魚みて あの日の頃に 戻りけり
		490	なつまつり きんぎょすくいが おきにいいり 夏祭り 金魚すくいが お気に入り
286	みやじま ゆきの 宮島 雪乃	491	しんぼるは あかいほうせき すずしけり シンボルは 赤い宝石 涼しけり
		492	うつくしい ながすのたから きんぎょかな 美しい 長洲の宝 金魚かな
287	いわやま ほのか 岩山 歩乃佳	493	がんばるよ きんぎょすくいで ゆうしょうを がんばるよ 金魚すくいで 優勝を
		494	おびがゆれ あざやかにまう 金魚
288	かたやま ももあ 片山 桃亜	495	ぽいにのる しんくのおびれ いろにおちる ポイに乗る 真紅の尾鰭 色に落ちる
		496	すずしげに はちにおよぐは あけのうお 涼しげに 鉢に泳ぐは 緋の魚

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
289	ひがしだ はると 東田 陽斗	497	せみのこえ つたわらなくても つたわるおんど
			蝉の声 伝わらなくても 伝わる温度
		498	なつやすみ かれんだ一みて でめきんに
			夏休み カレンダー一見て デメキンに
290	まつうら ちひろ 松浦 智尋	499	きんぎょさん かつぱつてきな うごきだな
			金魚さん 活発的な 動きだな
		—	—
291	まつやま ななせ 松山 奈々瀬	500	ぼいのあな さきまでみえる あかいうお
			ポイの穴 先まで見える 赤い魚
		—	—
292	みやもと そうま 宮本 爽雅	501	嫌だな もうすぐ僕は 売られるの
			502
		503	わたしをね すくうあなたの えがおすき
293	ながた なるほ 永田 成穂	503	私をね すくうあなたの 笑顔好き
			504
		504	太陽に 負けない輝き 金魚かな
294	まつもと ゆう 松本 優	505	ふかまるよ はらはらおよぐひ かがやいて
			深まる夜 はらはら泳ぐ緋 輝いて
		506	あかいいお わがやにまいさく はなごおり
			朱い魚 我が家に舞い咲く 花氷
295	たかたに りおな 高谷 莉緒那	507	いきができない たのむかるきを めいてくれ
			息ができない 頼むカルキを 抜いてくれ
		—	—
296	ひらき けいと 平木 慶音	508	きんぎょどん うごきはやかて とまらんか
			金魚どん 動きはやかて 止まらんか
		509	すいそうは もだらけのもり きんぎょおつ
			すいそうは 藻だらけの森 金魚おつ

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
297	くにぎき ゆうこ 國崎 優子	510	なつまつり ともだちどんでん とられてく
			夏祭り 友達どんでん 取られてく
		511	のしこらさい ふれきんちゃんは でばんだね
			のしこら祭 ふれきんちゃんは 出番だね
298	とおはら みんと 遠原 葉可	512	ぼいをもち ひとつおもいに すくうなつ
			ポイを持ち 一思いに すくう夏
		—	—
299	おだ さや 織田 清陽	513	うつくしき ながすのほこり あかいいお 美しき 長洲の誇り 赤い魚
		—	—
300	きむら なおき 木村 直輝	514	あかいいお きみへのおもいも もえるあか 赤い魚 君への思いも 燃える赤
			515
		516	きんぎよのお ゆれるおもいは きみへのあい 金魚の尾 ゆれる想いは 君への愛
301	いしだ あきとも 石田 晃幹	—	—
		—	—
302	くさの しずく 草野 しずく	517	あかきいお ふたりすくった あのなつへ 赤き魚 二人すくった あの夏へ
			518
		519	ながすまち きんぎよのしゆるい おおすぎる 長洲町 金魚の種類 多すぎる
303	うめむら はるき 梅村 春來	520	ながすまち きんしよのしゆるい ほうふだな 長洲町 金魚の種類 豊富だな
		521	きんぎよさん ながすまちから ゆうしゅうしょう 金魚さん 長洲町から 優秀賞
304	しまさき ゆいと 島崎 結人	522	まいおどる きんぎよにみんなは にどみする 舞い躍る 金魚に皆は 二度見する

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
305	つるた かりん 鶴田 華凜	523	あかいいお れきしとともに およいでく
			赤い魚 歴史とともに 泳いでく
		524	きんぎょたち かがやくめのさき ほがらかに
			金魚たち 輝く目の先 ほがらかに
306	くにむら ひなた 国村 ひなた	525	きんぎょたち ゆうがにはごろも ゆらしけり
			金魚たち 優雅に羽衣 ゆらしけり
		526	ぼくたちは ながすのほこり きんぎょだよ
			僕たちは 長洲の誇り 金魚だよ
307	まつもと かのん 松本 夏音	527	きんぎょすくい あたらしいなかま ふえるかな
			金魚すくい 新しい仲間 増えるかな
		—	—
308	はまぐち みなと 濱口 湊	528	すくわれる きんぎょのきもちも かんがえよう
			すくわれる 金魚の気持ちも 考えよう
		529	なつまつり あのこのゆかたは きんぎょのよう
			夏祭り あの子の浴衣は 金魚のやう
309	すずめがの あすか 雀ヶ野 彪	530	きんぎょすくい まっかなほうせき てにまんぞく
			金魚すくい 真っ赤な宝石 手に満足
		—	—
310	こんどう かえで 近藤 楓	531	なつまつり あかいさかなも まいおどる
			夏祭り 赤い魚も 舞いおどる
		532	きんのおび まとっておどる きんぎょかな
			金の帯 まとっておどる 金魚かな
311	みずもと りかこ 水本 梨香子	533	くらやみの あかいほうせき なつまつり
			暗闇の 朱い宝石 夏祭り
		534	いらっしやい きんぎょのらくえん ながすまち
			いらっしやい 金魚の樂園 長洲町
312	かねこ はのん 金子 春音	535	あおいみず なかでゆれる あかいおびれ
			青い水 中でゆれる 赤い尾びれ
		536	たいようの ひかりでかがやく ぼくのうろこ
			太陽の 光で輝く 僕のうろこ

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
313	うえの まなか 上野 愛果	537	きんぎょすくい きみのこころも つかみたい
			金魚すくい 君の心も つかみたい
		538	あかいいお ほおそめわらう きみのよう
			赤い魚 頬染め笑う 君のよう
314	いけだ あさみ 池田 有紗実	539	いお
			赤い魚 長洲にとって 大人気
		540	いお
			夏祭り どれをねらうか 赤い魚
315	みやはら こたろう 宮原 虎太郎	541	ながすまち どこにいても きんぎょいる
			長洲町 どこに行っても 金魚いる
		542	すいそうの みずがおどると ひれおどる
			水そうの 水がおどると ひれおどる
316	おおつか しゅんすけ 大塚 竣介	543	はらへった はやくえさくれ にんげんよ
			腹へった 早くえさくれ 人間よ
		544	すいそうの ぐれーどあつぷ ごねんごし
			水槽の グレードアップ 五年ごし
317	あらき かずとら 荒木 一虎	545	かげろうと すいちゅうの魚 かさなつて
			カゲロウと 水中の魚 かさなつて
		546	にっこうが いおのうろこに はんしゃして
			日光が 魚の鱗に 反射して
318	うめむら しょう 梅村 翔	547	きんぎょすくい けっこうたのしい きんぎょすくい
			金魚すくい けっこうたのしい 金魚すくい
		—	—
			—
319	うらの しょう 浦野 翔	548	ただいまと きんぎょにむかつて あいさつを
			ただいまと 金魚に向かって あいさつを
		549	ゆらゆらと かれいなヒレで およいでく
			ゆらゆらと かれいなヒレで 泳いでく
320	のだ しょうと 野田 翔斗	550	ぼいがきた はやくひげろ きんぎょたち
			ポイが来た 早く逃げろ 金魚たち
		—	—
			—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
321	やまむろ ゆうどう 山室 雄道	551	いつのひも ながすのきんぎょ おでむかえ いつの日も 長洲の金魚 お出迎え
		—	—
322	ふくしま あきら 福島 彬	552	いいきんぎょ やふおくごまんで うれました いい金魚 ヤフオク五万で 売れました
		553	きんぎょすくい とつたらとつたで せわしない 金魚すくい とつたらとつたで 世話しない
323	やまさき しゅん 山崎 俊	554	きんぎょを まつりでみると ほしくなる 金魚を 祭りで見ると 欲しくなる
		555	あこがれて おれもなりたい きんぎょだよ あこがれて 俺もなりたい 金魚だよ
324	はまだ ななみ 濱田 菜々美	556	あかいいお 夏祭り 二人でとった 赤い魚
		557	あかいいお 恋の色 感じさせる 赤い魚
325	いしおか まりん 石岡 愛鈴	558	あかいいお 夏になり 思い出させる 赤い魚
		559	あかいいお 夏終わり みんなバラバラ 赤い魚
326	えぐち くうが 江口 空我	560	きんぎょばち あいじょうためた ちよきんばこ 金魚鉢 愛情貯めた 貯金箱
		561	これはこい きんぎょがすきな ながすまち これは恋 金魚が好きな 長洲町
327	まさとき ひびき 政時 響	562	きんぎょの からだはまるで スイカだね。 金魚の 体はまるで スイカだね。
		—	—
328	森田 ふたば	563	ひらりらり あなたのしっぽ ひらりらり ひらりらり あなたのしっぽ ひらりらり
		—	—

「ながす金魚俳句コンテスト」応募作品

応募人数	応募者名	作品番号	投句
329	はまべ さすけ 濱邊 颯	564	金魚すくい 赤い宝石 袋の中
		—	—
330	もりた ひなの 守田 妃七	565	くらやみに ゆうがにおよぐ あかいいお 暗闇に 優雅に泳ぐ 紅い魚
		566	あかるさに てらされひかる あかいいお 明るさに 照らされ光る 朱い魚
331	塗園 隆斗	567	種類でね ねだんをきめたら だめだよ
		568	考えよう 金魚も命が あるんだよ
332	ひさやま せな 久山 星成	569	みずいろの すいそうてらす きんぎょたち 水色の 水槽照らす 金魚たち
		—	—
333	きりゆう りお 桐生 莉緒	570	むすんでひらいてむすんで きんぎょのお むすんでひらいてむすんで 金魚の尾
		—	—